

一般社団法人日本補体学会

第 55 回日本補体学会総会議事録

【議事内容】

(1) 第 55 回日本補体学会学術集会 (2018) 開催状況報告

集会長の塚本浩氏より報告があった。

9 月 1 日時点で参加者は合計 103 名。

(2) 第 55 回日本補体学会優秀賞・奨励賞選考結果について

若宮会長より優秀賞選考結果の発表がなされ、

関根英治氏 福島県立医科大学 免疫学講座

研究課題 「MRL/lpr マウスのループス様糸球体腎炎における MASP-1/3 の役割」が表彰された。

(3) 平成 29 年度事業報告

若宮会長より事業報告書を基に報告がなされた。

(4) 平成29年度会計報告

若宮会長より「平成 29 年度日本補体学会収支決算（事務局）」「平成 29 年度日本補体学会収支決算（受託業務）」「平成 29 年度日本補体学会収支決算（第 54 回日本補体学会学術集会）」を基に報告がなされた。

事務局：収入 10,922,505 円、支出 2,708,208 円、繰越残高 8,214,297 円

受託業務：収入 171,170,682 円、支出 93,201,566 円、繰越残高 77,969,116 円

第 54 回日本補体学会学術集会：収入 3,088,016 円、支出 3,088,016 円、繰越残高 0 円（理事会で報告済み。）

(5) 平成 29 年度会計監査報告

藤田禎三氏より監事として各資料を確認し、平成 29 年度の会計が適切に運営されたことを確認した事が報告された。

(6) 平成 29 年度運営一般状況

若宮会長より「日本補体学会運営状況の推移」の資料を基に報告がなされた。

現在会員は 180～190 名前後になっていることを報告。

(7) 平成 30 年度事業計画

若宮会長より事業計画書を基に報告がなされた。

(8) 平成 30 年度予算案

若宮会長より平成 30 年度予算案を基に報告がなされた。

1) 「平成 30 年度日本補体学会予算（事務局）」について

予算収入案：9,467,297 円

支出案：1,970,000 円

繰越残高：7,497,297 円

2) 「平成 30 年度日本補体学会予算（受託業務）」について

収入：77,969,116 円

支出：82,280,000 円

繰越残高：△4,310,884 円

※繰越がマイナス計上になっている。（年度切り替えが異なるため）

3) 「平成 30 年度日本補体学会予算（第 55 回日本補体学会学術集会）」について

収入：4,695,521 円

支出：4,695,521 円

繰越残高：0 円

(9) 理事選挙開票結果

若宮会長より日本補体学会理事選挙の開票結果報告がなされ、承認された。

◎新理事メンバー 12 名（五十音順・敬称略）

井上徳光、今井優樹、大澤 勲、大谷克城、関根英治、塚本 浩、

中尾実樹、西村純一、堀内孝彦、水野正司、村上良子、若宮伸隆

(10) 会長・副会長・監事の選出

若宮会長より会長・副会長・監事の選出結果の報告がなされた。

会長選挙の結果、会長には若宮伸隆氏が選ばれたことが報告された。

副会長に堀内孝彦氏、井上徳光氏が理事会で承認されたことが報告された。

監事に木下タロウ氏が新たに任命され、総会にて承認された。山本哲郎氏は監事を継続する。

(11) 第 56 回日本補体学会学術集会（2019）について

集会長：埼玉会埼玉草加病院院長 大澤 勲氏

日時：2019 年 8 月 23 日（金）・8 月 24 日（土）

場所：コンgresクエア日本橋

(12) 第 57 回日本補体学会学術集会（2020）について

集会長は大阪大学微生物病研究所 籾本難病解明寄附研究部門教授 村上良子氏とする。

(13) 平成 30 年度委託研究助成について

若宮会長より審査結果の発表がなされ、平成 30 年度は、以下の 3 名が選ばれた。

○尾崎将之氏 名古屋大学医学部附属病院救急集中治療部

「STEC-HUS の尿細管障害における補体活性化の関与」

○関根英治氏 福島県立医科大学 免疫学講座

「加齢黄斑変性の生体眼におけるバイオマーカーとしての補体測定意義の検討と抗補体薬を用いる新規治療法の開発」

○渡邊栄三氏 千葉大学大学院医学研究院 総合内科学講座

「敗血症病態における補体制御の役割と補体を標的とした治療への応用」